

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

河川課長 田中 悟

電話番号

0852-22-5195

事務事業の名称	砂利採取関係業務	
目的	(1) 対象	砂利採取場周辺の住民
	(2) 意図	災害を未然に防止し、生命財産が保護されるようにする。
事業概要	砂利採取業について、砂利採取業者としての資質を有する者を登録し、基準に適合した砂利採取業者の計画の認可を行なうこと等により、砂利の採取に伴う災害を防止し、砂利採取業の健全な発達に資する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	年度間の未廃止・無認可採取場減少数	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	箇所
	式・定義	未廃止・無認可採取場を減少させる	取組目標値					
			実績値	0.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	155	218
うち一般財源 (千円)	155	218

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

単年度の目標は達成できなかった。なお、4カ所の未廃止採取場がある。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

引き続き未廃止採取場について、跡地処理を行うよう業者へ指導をしている。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

業者の所在が不明な未廃止採取場がある。

②困っている状況が発生している「原因」

経営状況が悪く、跡地整備工事をする経費が不足している事業者がある。

③原因を解消するための「課題」

定期的にパトロールを実施し、新たな未廃止採取場が発生しないようにする。  
未廃止採取場の廃止に向けて、事業者を指導する。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

未廃止採取場を増やさないため、事業者が倒産・消滅に至る前に廃止処理を指導できるようパトロールを強化する必要がある。また事業者が倒産・消滅した採取場について破産管財人や土地所有者などと協議し、廃止措置ができるよう交渉する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)